

《夏休み企画》親子で参加！

チャオプラヤ川流域の 橋と治水事業視察

JICA・日本人会共催
旅行企画JTBタイランド

日本のODAで建設されたアユタヤの水門を見学し、
帰りはチャオプラヤ川に架かる橋を船上から眺めながらバンコクへ。
専門家の方々の話に耳を傾けながら旅するスタディツアーの報告です。



ノンタブリ1道路橋

夏休みまっただ中の8月7日(水)、JICA(独立行政法人国際協力機構)とタイ国日本人会の共催で、《夏休み企画》親子で参加！チャオプラヤ川流域の橋と治水事業視察「チャオプラヤ川に辿る、日本とタイが積み上げてきた交流史」という長い名前のスタディツアーが開催されました。

メインイベントは、洪水問題対策のために日本の政府開発援助(ODA)でアユタヤ県に建設した水門と、併せて寄贈したポンプ車の見学。もう一つの目玉はODAで建設されたチャオプラヤ川の橋梁群を船上から見学する帰路の船旅です。このツアーにはJICAバンコク事務所の職員の方々が同行し、午後の船旅は橋梁建設のエキスパートが橋を見ながら船上で語るという贅沢な布陣。JICAと日本人会の共催ならではのツアーです。

アユタヤ日本人町跡

ツアー当日、朝7時15分にスクムビット24のエンポリアムスイートに集合。旅行会社JTBのバスでアユタヤに向けて出発です。参加者は28人。夏休み企画とあって親子連れも多く、車中はワクワクした遠足気分。

車内でマイクを握ったJICAの水上貴裕氏。ODAとは何かから始まり、タイでのプロジェクトの現状と未来までを語る軽妙な口調に引き込まれているうちにバスはアユタヤに到着。

まず足を運んだのはアユタヤ日本人町跡です。日タイ修好100年の記念行事の一環として1990年に設立されたアユタヤ歴史研究センターで、江戸時代初期の朱印船貿易やそれ以前の琉球貿易の交易品として日本に輸出された鹿皮や鮫皮、蘇芳などの展示品を見学。

映写室でアユタヤの日本人町をCGで再現した動画を鑑賞し、次に17世紀に活躍した山田長政、そしてターオ・トーンキープマーの展示館へ。ターオ・トーンキープマーは「タイ菓子の母」として知られ

チャオプラヤ川に 辿る 日本とタイが 積み上げてきた 交流史



見上げてごらん
これがニッポンの
ODA!



三宅繁輝氏



水上貴裕氏

18年のチェンライのタムルアン洞窟でサツカー少年たちが閉じ込められた事件に緊急出動したポンプ車でもあり、事故現場に急行したJICAの三宅繁輝氏によるお話はさすがの臨場感。ポンプ車1台（2台配置）は1日に4000トンの水を排出する能力があります。雨が降ると1日に100万トンの水が溜るといふ状況の中、JAXA（宇宙航空研究開発機構）の高解像度衛星写真やレーダーによる衛星画像を配布するとともに、各種専門家らと救援活動

再びバスに乗り込み、一路、水門へ。2011年に発生した大洪水はアユタヤ地方のみならずタイ全土に甚大な被害をもたらし、工業団地が冠水したことにより日本の企業も大きな打撃を受けました。それを受けて日本はチャオプラヤ川の支流の一つパサック川で緊急支援を実施。水門2基とポンプ車10台を供与し、水路の護岸工事を行いました。私たちが見学したのは2015年に完成したハントラ運河の水門です。上階に上り、ワイヤーが巻き上げられて巨大な水門が開く様子も見学することができました。

治水事業の水門とポンプ車を見学

る日本とポルトガル等の血をひく女性で、宮廷の菓子部門の要職に就いていた人物です。古のアユタヤを偲び、日タイの歴史の間で生きた人々に思いを馳せながら外に出ると、滔々と流れるチャオプラヤ川。今日この地に立つ私たちもまた歴史の流れに連なっている、そんな感慨を抱いたひと時でした。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑩



⑭

に尽力し、後にタイ政府から感謝状をいただいたそうです。王室灌漑局の皆さんとポンプの本体に日の丸とともに印字された「From the People of Japan」に見送られて、水門を後にしました。

橋を観る船旅

次はいよいよお待ちかねのクルーズです。バスで南下してワット・チョンロムの船着場に到着すると、白いクルーザー「グラインド・パレス号」が褐色のチャオプラヤ川に。さつそく乗船してビュッフェスタイルの昼食です。デザートコーナーに日本人町跡の展示館で見たタイの南蛮菓子も並んでいて、タイムリーに往時のアユタヤを味わうことができました。昼過ぎに船は静かに滑り出し、お腹も満たされた頃、タイ駐在歴22年にして橋梁建設のエキスパート「橋おじさん」こと土田正之氏(三井住友(株)タイ事務所代表、日本人会理事)の登場です。「進行方向にラム4世橋が見えてきました。コンクリート製の橋ですね。きれいなアーチを描いております。工事をしている時には、地名からバックレット橋と呼んでいましたが、竣工式の時に王室から「ラム4世橋」と命名いただきました。チャオプラヤ川に架かる橋はすべて王室が名づけています」橋の名前は王室からの賜。それだけ大切に考えられているのでしょうかと感心しましたが、中には覚えきれないほど長い名前もあるとか。因みにノンタブリ1道路橋の正式名称は、マハージェーサーダーボディントラーヌソーン橋です。

タイに技術を伝えた橋の建設

プラ・ナンクラオ橋を挟んで3本の橋を過ぎると今回のツアーのハイライト、金色のケーブルが一際美しい件のノンタブリ1道路橋。チャオプラヤ川には全部で15本のODA関連の橋梁が架けられています。この橋が最も新しく開通は2014



⑨



⑧



⑬



⑫



⑪



①アユタヤ日本人町跡入口 ②アユタヤ歴史資料センター ③日本がタイから輸入していた鹿皮、鮫皮、蘇芳など
 ④「タイ菓子の母」ターオ・トーンキープマー像 ⑤水門の上階に上って見学
 ⑥ポンプ車 ⑦チェンライの洞窟事故で救出作業にあたった三宅氏が当時の状況を説明 ⑧グランドパレス号 ⑨ノンタブリ1道路橋の主塔 ⑩船でビュッフェランチ ⑪ポルトガル伝来のタイ菓子フォイトーン、トーンヨートなど ⑫船上のカメラ女子 ⑬高層ビルを背景に風情のあるメモリアル橋 ⑭船のデッキで記念撮影



土田正之氏

400年前のアユタヤに生きた人々に思いを馳せ、ODAによる治水事業を見学し、人と物のみならず日タイ二つの国を繋いできた橋を見上げたスタディーツアーももうすぐ終わります。日タイの未来に続く「心の架け橋」をお土産にリバーシテイで下船しました。

年12月。ODAによって建設された最後の橋だそう
 です。「ノンタブリ1道路橋は、当時東南アジアでは初めてのエクストラロード橋（工法）でした。エクストラロード橋は主塔の高さを斜張橋（主塔から張り渡したケーブルでPC主桁を吊り上げた橋）の3分の1以下にできるため、高さ制限がある場所でも架設できますし、高さが低い分、コスト削減も可能です」
 「ちょっと難しい話でしたが、主塔があまり高くないところが「技術」であることが分かりました。主塔のてっぺんの金色の装飾は、王冠と蓮の花をイメージしているそうです。
 ノンタブリ1道路橋が最後のODA橋ならば、始まりの第1号はプラ・ピンクラオ橋。第1次円借款で1971年に着工され1973年に開通。46年もの間、人と物と地域を繋いできた現役の橋です。何の変哲もない地味な外観ですが、実はタイ初のコンクリート橋なのです。
 「タイにコンクリート製の橋の技術を伝えたのは日本です。それまで橋といえば鉄橋でした。コンクリートのメリットの一つはコスト。タイでは鉄よりコンクリートが安いので、メンテナンフリーです。鉄橋は錆びるので補修が欠かせませんから」
 日タイODA事業の始まりでもあるプラ・ピンクラオ橋を過ぎると、川岸は賑やかに。ワット・アルンにサンタクルス教会、ウオーターフロントの高層ビルが建ち並び、バンコクらしい光景が待ち受けていました。

船から見た ODAの橋

チャオプラヤ川には
ODAで作られた橋が15本。
そのうち8本を
船上から観察しました。



①ラマ4世橋
第22次円借款(1997年 約68億円) 橋の長さ: 416m
着工2003年12月 開通2006年12月
ビュッフェで満腹した頃に現れた最初の橋がラマ4世橋。アーチが美しい。橋の周辺には水上家屋やサーラー(東屋)が並んでいた。



②ブラ・ナンクラオ橋
第8次円借款(1981年 約58億円) 橋の長さ: 329m
着工: 1983年2月 開通: 1985年7月
手前に新ブラ・ナンクラオ橋、次にブラ・ナンクラオ橋、その奥にODAで建設された地下鉄パーブルーインの鉄道橋が3本平行して並んでいる。



③ノントブリ1道路橋
第32次円借款(2010年 約73億円) 橋の長さ: 460m
着工: 2012年5月 開通: 2014年12月
ODAによってタイに建設された最後の橋。東南アジア初のエクストラドーズド(工法)橋。主塔の高さを斜張橋よりも低くできることからコスト削減にも。



④ラマ5世橋
第20次円借款(1995年 約72億円) 橋の長さ: 320m
着工: 1999年11月 開通: 2002年6月 第21次円借款(1996年 約100億円) 着工: 2000年12月 開通: 2004年4月 21世紀に入り開通したラマ5世橋のアーチはなだらか。「なだらかさ」も技術の賜物。



⑤ラマ7世橋
第13次円借款(1987年 約55億円) 橋の長さ: 290m
着工: 1990年1月 開通: 1992年9月
ラマ7世橋を過ぎると地下鉄レッドラインの鉄道橋があり、その先に平行して鉄橋のラマ6世橋が。次々に橋をくぐり抜け船は南下していく。



⑥ブラ・ピンクラオ橋
第1次円借款(1971年 約13億円) 橋の長さ: 280m
着工: 1971年8月 開通: 1973年9月
日本のODA事業としてタイで初めて建設された記念すべき橋であり、タイ初のコンクリート橋。人と物を地域を繋ぐ役割を担って46年。現役で活躍中。



⑦メモリアル橋
第7次円借款(1980年 約42億円) 補修工事: 1983年11月~1984年12月 橋の長さ: 234m 着工: 1929年12月 開通: 1932年4月
古くからある鉄橋を末長く活用できるように、橋を支えているコンクリートの部分の基礎固めと橋桁の補修をODAで。



⑧ブラ・ポックラオ橋
第7次円借款(1980年 約42億円) 橋の長さ: 212m
着工: 1981年11月 開通: 1984年12月
終点の船着場リバシティの手前にある船旅最後の橋。川沿いの道路でサイクリングを楽しむ一団が。川風に吹かれての自転車は気持ちよさそう!



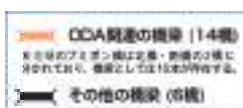
サンタクルス教会



ワット・アルン(暁の寺)



ノントブリ橋



建設中の新国会議事堂

※詳細は先月号(2019年9月号) p5の「チャオプラヤ川の橋Map」をご覧ください。

二〇一九年
八月

俳句と短歌の広場

王朝の香へラムヤイの熟しけり イーブン美奈子

ロールアのごとき小さなボート漕ぐ 岩田真之介

風死せりますます女房の寡黙なり 浮田恒夫

秋立つや本帰国の日近づけり 大口堂遊

ラムヤイも食べ納めかな本帰国 大口乃り子

貸しボート湖面に浮かべ涼を取る 大竹茜子

梅雨の気やねっとり体にまといつき 嵯峨春野

池一面蓮に奪はれボート浮かばず 堀井京子

貸しボートゆつくり漕いでアヒル越す 山田誠

八月の歌の集ひや「YMCA」 山本良子

本館にて、おりも氏父娘による昭和の名曲コンサート

メナム句会

日時 第二土曜・十七時

場所 本館会議室

電話 〇九〇・九七〇・一二五六

メール minakobar@gmail.com (イーブン美奈子)

バンコク短歌会

日時 第四日曜日の十七時十五分

場所 パーソナルコンサルタント社セミナールーム

電話 〇八九・八九一・一六八三

メール miekobkk@gmail.com (森上美恵子)

約束をもうしなくてもいい僕ら、あの碧はあを翡翠かはせみだつたらうか イーブン美奈子

契りきし家族の絆強めつつ本帰国できる老後に感謝 大口堂遊

イシツブハレヒ二十五年住みて馴染みしバンコクに今朝別れ行くコップンカーと 大口乃り子

指切りで約束をした遠い日と同じ青さの八月の空 北館尚子

名も知らぬ形も知らぬ花の種掌の中祈りを込める 高野久美子

こんなのが歌になるんだ 不思議がる帰国子女らに「契り」英訳す 斎藤由利子

盆の朝に弁財天へ詣れば井之頭池わたる蛇あり 申人

眠るように逝つたと知ってほつとしたよ 気にしてたものね幕の閉じ方 那須世子

オペラ座の天井画に舞うシャガールの『夢の花束』光集めて 森上美恵子



ワット・リアップの敷地内にある日本人納骨堂の前で

きっかけは タイ vol.6

タイから繋がるライフストーリー

馬場心悟さん ◆僧侶

タイの僧院で

知った

「寺」と「人」の

あたたかい距離。

托鉢の写真に導かれて

——僧侶の道を選ばれた理由をお聞かせください。

山口県の山寺に生まれ、小さい頃から自然に囲まれた環境で、お経の声を聞きながら育ちました。しかし海が身近な下関という場所柄が海に惹かれ、水産大学校に進学。考えが変わったのは、大学を卒業する頃に祖父が亡くなってからです。自分も実家の寺を考えなくてはいられないと思い、祖父がかつて修行した場である高野山(和歌山県)の教育機関である高野山大学に編入することにしました。

——高野山大学では何を学ばれたのですか？
僧侶になるための勉強は講義で仏法を学ぶだけではありません。最も大切なものの一つは、真言密

教の僧になるための重要な修行である「四度加行(しどげぎょう)」です。約100日間にわたり行われる修行で、法衣のまとい方や数珠の置き方に至るまで所作とその意味を知ることから始まり、加行(さらに高い段階へ向かって努力精進する、その準備となる修行)の意味を深く理解するために学ぶのですが、それは師僧から直接伝授していただき受け継ぐものであって、本を読んで理解するものではありません。修行は厳しく、外の世界と連絡を取ることも禁じられます。その修行後に「伝法灌頂(でんぽうかんじょう)」という儀式を受けて、正当な教えを受け継いだこととなります。真言密教は何よりも師との出会いが大切だということを学びました。

——タイで僧侶になられたきっかけは？

四度加行の修行を終えた頃、大学の掲示板で「タイ国開教留学僧募集」という見出しを目にして、そこに添えられていた写真に衝撃を受けたことからです。黄色い衣をまとった比丘(修行僧)が、手には托鉢を持ち、素足で歩き、信者さまより供物を受けている。そういう姿がこの時代にも存在しているのかと。かつこよかったです。しかもその比丘は日本人で、前任者の方だということが後で分かりました。

それからは東南アジア圏で信仰されているテーラワーダ仏教についての文献を読みあさり、お釈迦さまの弟子たちは何を感じ、何に向かって歩いていったのか。そんな



左：早朝の托鉢 上：日本人納骨堂でのお勤め(※※) 下：タイ語の師でもあった少年僧たちと

Shingo Baba

僧侶。1982年山口県生まれ。下関市の水産大学校を卒業後、高野山大学に編入して僧侶に。2008年、タイ国開教留学僧として来タイし得度。タイ仏教の修行僧としてワット・リアップに止住し、同時に同年から2011年まで第19代日本人納骨堂堂守を務める。現在は高野山真言宗総本山金剛峯寺教学課に所属し、僧侶の教育活動・阿字観講習会・保育連盟の研修会開催などを担当している。

ことを考える日々が続いて、数ヶ月後の2008年3月にタイ国に飛びました。

得度式からの新しい人生

——得度式はパーリ語ですね？

そうです。タイに着いて3週間後には比丘になるためにワット・リアップで得度式をするところが決まっていましたので、式に必要なパーリ語の手ほどきに先輩比丘から受けて毎日練習しました。当日は暗記した文言を間違えずに言えるか緊張しましたが、式が終わる一人の比丘として認められた時には、自分生まれ変わり、ここから新たな人生が始まるんだという何とも言えない清浄な気持ちになった

Q あなたにとってタイとは？

タイ比丘の 優しさそのもの



今年6月に行われたワット・リアップ教育基金伝達式に参列するために僧院を来訪。得度式をし毎朝お勤めをした本堂の前で(※)

ことを覚えています。

——僧坊での生活は？

薄暗いうちに托鉢に出て、30分
から1時間くらい托鉢すると鉢
がいっぱいになります。僧坊に戻
ると7時に朝食。その後本堂で朝
のお勤めで、パーリ語でお経をあ
げます。日本人納骨堂でお勤めを
し、訪問者がいない時には、サー
マネーン(少年僧)のクラスでパ
ーリ語を学んでいました。少年僧
はパーリ語の国家試験があるので
よく勉強していました。午前11時
にその日最後の食事を取り、夕方
にまたお勤めをし、その後掃除と
いう生活です。

当時は携帯はなし、服装も僧衣
だけ、食事は托鉢で寄進されたも
のを食べ、住いはお寺。つまりム
ダなことがなくて、わずらわしい
ものがない。今、その瞬間だけを
考えて生きる、そういう爽快感が
ありました。

タイ語力ゼロで始まった生活で
したが、「これ、何？ あれは？」
と周りの僧侶や少年僧に尋ねて、
しだいにタイ語能力が上がってい
きました。その一つ一つが新鮮で
したね。

各地方の比丘の先輩たちの寺に
連れていっていただき、瞑想体験
などをさせてもらったことも得難
い経験でした。

黄衣をぬぐさみしさ

——馴染んだ僧院生活の後、還
俗された時のお気持ちは？

タイでは僧侶は尊敬の対象で
す。それは厳しく227条の戒律
を守っていることの証である僧衣
をまとっているからで、衣に守ら
れていると感じていました。です
から僧衣を取ってしまうと、衣に
守ってもらえなくなる。これから
自分で生きていかなければならな
いのだと思い、無性にさみしかっ
たです。

——最も印象深いことは？

3年と少し、タイで僧院生活を
していましたが、多くの先輩比丘
に救われました。片言のタイ語し
か話せない私にみな丁寧に教えて
くれ、生活の一つ一つのルールも
手取り足取り指導してくれまし
た。ユニークな仲間が多く、気持
ちが沈んだ時はおどけて笑わせて
くれたりもしました。任期を全う
できたのは、そんな仲間がいてく
れたからで、彼等の優しさに救わ
れたと思っています。今でもタイ
を訪れるとその優しさを思い出し
あたたかい気持ちになります。

——今後は？

現在は高野山の金剛峯寺に務め
ていますが、いずれこれまでの経
験を活かしながら、実家のお寺を
盛り上げていくつもりです。タイ
のお寺のように、一般の人が、特
に用事がなくてもちよつと立ち
寄ってみたいと思えるお寺にした
い。そして気楽に話せる場をつく
りたい。地域の心の拠り所になる
ようなお寺にしていきたいと思
います。

——ありがとうございます。

